



第10期 神奈川区地域づくり大学

第2講 強くあたたかいコミュニティづくりのヒント 立ち上げ方・つくり方・まわし方

- 日時：2024年11月24日(日)13時~16時
- 会場：かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)
- 講師：呉 哲煥 氏
NPO法人CRファクトリー代表理事
- ファシリテーター：塚原 泉 氏
NPO法人親がめ理事長

- あいさつ・アイスブレイク(参加動機の交換語り合い)
- 講義：強くあたたかいコミュニティづくりのヒント
～立ち上げ方・つくり方・まわし方～
- お力(お宝)交換ワーク
- 地域振興課よりお話
- ふり返りタイム

13:00- あいさつ・アイスブレイク

- ・第1 講欠席のかたへ/今日の元気度
- ・2人1組で自己・活動紹介タイム 時間内にできるだけ多くの人と対話

13:15- 講義&ワーク「強くあたたかいコミュニティづくりのヒント」

自己紹介

- ・NPO 法人 CR ファクトリー：C=Community R=Relationship (関係性・つながり) 2005年法人立ち上げ
- ・立ち上げ当初は世間に理解されなかった
- ・ビジョン=「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会の実現」

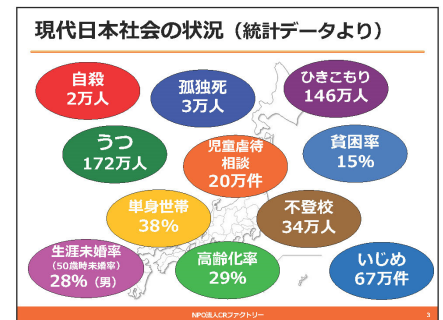
現代日本社会の状況 (統計より)

- ・自殺・孤独死・うつ・ひきこもり (子ども~中年) といった社会課題
- ・高齢化率 2025年国勢調査では30%を越えるだろう
- ・不登校 直近でまた伸びている 伸びがここ最近大きい
- ・未婚率 男性は3人に1人に迫る
- ・単身世帯が1970sには10%以下だったが2014からトップ

→国立社会保障・人口問題研究所の推計をはるかに上回るスピードで進んでいる単身化

30~40年かけてじわじわと孤立・孤独社会がすすんでいる

網(セーフティネット)の目が大きくなって、落ちる人が増えている 予防・軽減できないか?



c.f.『孤立の社会学』石田光規著『コミュニティを問いなおす』広井良典著

血縁・社縁・地縁の衰退

- ・社会構造の大きな変化：「つながり」や「コミュニティ」の希薄化・弱体化

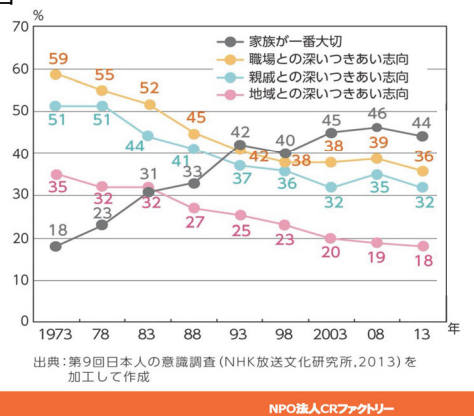
- ・高度経済成長期、会社員という人種の誕生→ファミリー主義の増加
- ・30年前は「国民皆婚社会」→未婚率の上昇 核家族さえ成り立たない

「わづらわしさ」からの「解放」=「安心・安全網」の「剥奪」

つながり・コミュニティの効果

- ・健康・幸福・教育の分野において、学術的に証明されはじめている
- ・右肩あがりに経済成長しない社会で豊かさのカギとなる
- 昔に戻るのではなく未来にそぐう新しい形を模索するフェーズにきている
- 経済原理だけでなく、自分の動機を大事に
- やらずにはいられない衝動、(社会のため・誰かのため・自分のために)が自分の時間を使う尊い活動を支えている
- ・公助 (誰かにやってもらう・サービス) --- 自助 (自己責任) の二択にしない
- その中間にある共助・互助を豊かにしていくこと

いま、新たに人々をつなぎなおす「コミュニティのかたち (共同性)」がもためられている



ちょっと一息「ひとりでも生きていけるよね??」というつばやきより

- ・人とのつながり【昔】必要性で ex.) しょうゆの貸し借り【今・これから】目的と困りごとが接着剤になる
- ・100 万年前からつながるホモサピエンスとしての遺伝子に欲求として組み込まれている「つながり」
- ・死なないことはできるかもしれないがよりよく生きるためには～必要

コミュニティマネジメントの基本原則（『コミュニティマネジメント教科書』講師著より）

① サービスではなく「コミュニティ」

- ・リーダーのこだわりでいいイベント・講座ができる→やりすぎると提供疲れに
- ・リーダーも顧客：活動の価値を享受することをおこむ
- ・「主客交代」「主客融合」するのが「コミュニティ」 ex.) 常連が水割りをつくるスナック



② 舞台と役割・出番をコーディネートする

- ・まずは舞台をつくりあげる「おいで」と誘う「実行委員会方式」「チーム」
- ・一人一人の持ち味を見極めて引き出す：興味や得意から役割と出番を「全員野球」
- ・自分がやったほうが早いという「魔の力学」から脱却しよう
- ex.) 人手が足りていたとしても、あえて声をかけて一緒にやる



③ 人はコスト（時間や苦勞）をかけた分だけ愛着がわく

- ex.) 学生時代の部活？文化祭？最たるものは子育て
- ・楽なものには人は愛着がわかない「あのときは大変だったね」と語り合えること
- ・さじかげんがミソ：燃え尽きない程度に

④ お金以外の報酬に着目する

- ・人によっていろいろ「成長」「学び」「出会い」「頼りにされていること」「感謝されること」など
- メンバーが関わる理由に着目する

強くあたたかい組織・コミュニティをつくる 3 つの要素（コミュニティキャピタル研究の知見より）

大学との共同研究「理想的なコミュニティの要件とは何か？」の問いから因子分析を経て 3 つの因子に

① 理念共感：メンバー間でのビジョンやミッションの共有

- ・「この団体を担っていきたい」と思える感覚

② 自己有用感：メンバーそれぞれの「役立ち感」

- ・フィードバック（ほめる・ねぎらう・感謝する）が大事
- 「あの“場面”のあの“演技”がすばらしかった」

③ 居心地のよさ：心理的な安心感・エンゲージメント

- ・ミーティング前後のチェックイン、お茶やごはんを共にする、レジャー企画

※意図的に時間や機会を積み重ねることが大事



14:50- 休憩

- ・受講生によるプチからだほぐしタイム

15:00- お力交換ワーク

- ・記入した交換シートを見せながら、グループでトーク&メモ
- ・途中グループメンバーをシャッフル（自由に席を選ぶ）各 15～20 分× 2

15:40- 情報提供・クロージング

- ・呉さんよりメッセージ

必ずしも強い個人から活動が生まれるとは限らない

自分を起点にして自分らしい、自分なりのアクションを大切に

“魔法のように”いつのまにか行動していることがあるつながりや楽しさ・交流を大事にしてほしい

卵からひなが孵るように時間をかけて熱い意思を育ててほしい

- ・区民活動支援センター・助っ人 BANK 紹介
- ・地域づくり大学校応援サイト紹介
- ・ふりかえりシート記入
- ・LINE グループについて
- ・一人一言感想 16:00 終了



保育：3名（6歳・4歳・3歳）保育協力者2名

受講生の気づき 抜粋

■ 今回の呉さんのお話は自分にピッタリとはまって聞き入ってしまいました。サービスではなくコミュニティのところで私自身、誰かが忙しくてできないなら自分がすればいいと思いがちで何でもしようとしてしまうのですがそれによって、みんなは用意されていると感じ、同じ活動をしていてもお客様になってしまうんだなと勉強になりました

■ 「強くあたたかい コミュニティづくりのヒント」で説明された 地縁・社縁・血縁の衰退、“わずらわしさからの解放”という言葉にこれだと感じました

■ コミュニティマネジメントの4原則は目からウロコでした。組織にいた時はコストパフォーマンスを求められてきましたが、時間をかければかけるほど愛着が湧く 逆転の発想だと思いました。座右に置いて時に振り返ろうと思います

■ コミュニティマネジメントの基本原則がとても学びになった。多くの人が舞台に立てること、苦労を共にし愛着が出ること、大きな感覚の変化でした

■ 組織の作り方、継続の仕方について詳しく教えていただいてとても勉強になりました。リーダーだけが頑張るってはいけない、意図的に作らないと良い組織コミュニティは作れないなど具体的な話が分かりやすかったです

■ お金以外の報酬に着目するという基本原則が一番印象に残った。自らの求める報酬と他の人が求めるものをすり合わせていなかったと考えた

■ 強くあたたかい組織づくり等の話を聞いて、私が町内でしている方法の違いが分かり、町内に生かしたいと思えた

■ 人を巻き込むことで問題意識を持ってもらうこと、フリーライダーではなく当事者になること、どれも町内会作りに欠かせないものだと感じた。アイデアをしっかりと具現化していきたいです。今はまだアクションプランが明確ではありませんが皆さんのお話を聞く中で形にしていけたらと思いました

おカ(お宝)交換ワークなどコミュニケーションタイムについて 気づき抜粋

■ 自分自身できることは少ないかもしれないけれど力を貸してほしいという人が現れてくれると嬉しい

■ 実際にやりたいことが一致する方が多数いらっやだったので一緒に「現場へGO」など行ってみたいと思いました

■ 大学生の方と会話できてよかったです。実生活ではなかなか知り合いになれないです。是非ボランティア仲間になってほしいと思いました

■ 自分の中でなんとなくしか考えていなかったことがお宝交換ワークの話の中で言葉にすることで少し具体的に見えてきたような気がします。地域について考えている方がたくさんいることがわかって勇気をもらえました

■ 受講者の方とずっと話したい！仲間を作りたい！その時間がもう少し欲しいです

■ 一緒に何かやりたいという人がグループワーク中に何人かいたんですが、時間がなくその場で連絡先交換ができなかったことが残念でした→LINEグループ嬉しいです

■ もう少し自分のしたいことの理念を深掘りしたいと思いました。まだふわっとしていますが今日もまた一つ前へ進めた気がします